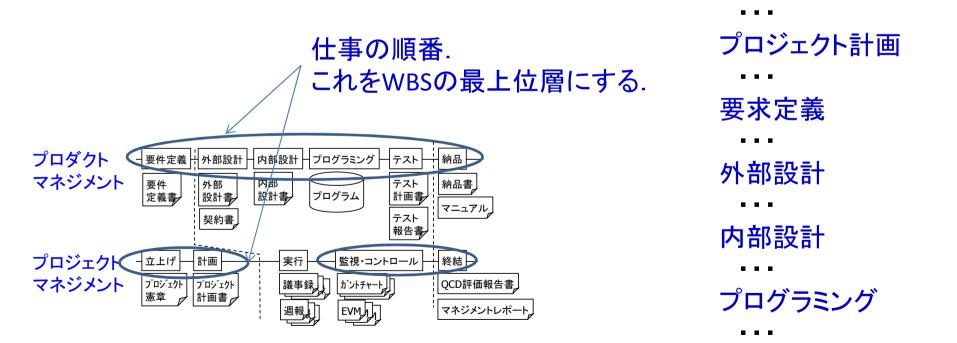
WBS, RAM, ガントチャートの作り方

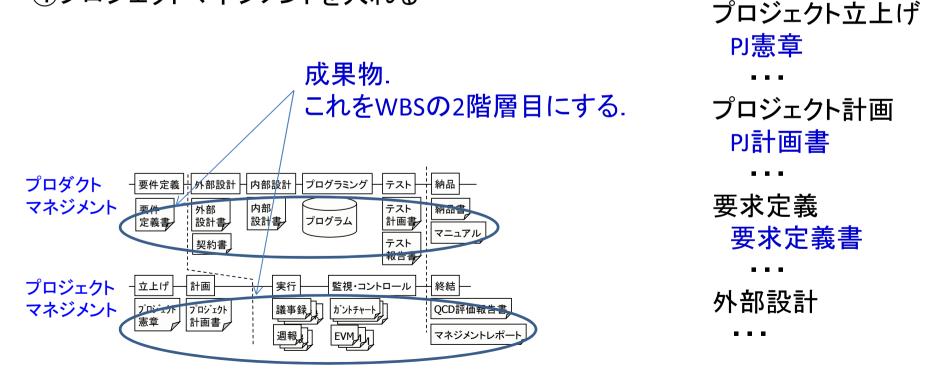
- ①1層目:プロセスから展開する(仕事の順番に合わせる)
- ② 2層目:成果物とひも付けする(終わりを明確とする)
- ③ 3層目:成果物を作る仕事に分解する(100%ルールを守る)
- ④プロジェクトマネジメントを入れる

- ①1層目:プロセスから展開する(仕事の順番に合わせる)
- ② 2層目:成果物とひも付けする(終わりを明確とする)
- ③ 3層目:成果物を作る仕事に分解する(100%ルールを守る)
- ④プロジェクトマネジメントを入れる

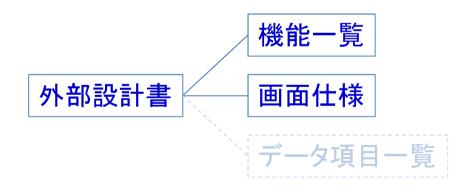


プロジェクト立上げ

- ①1層目:プロセスから展開する(仕事の順番に合わせる)
- ② 2層目:成果物とひも付けする(終わりを明確とする)
- ③ 3層目:成果物を作る仕事に分解する(100%ルールを守る)
- ④プロジェクトマネジメントを入れる



- ①1層目:プロセスから展開する(仕事の順番に合わせる)
- ② 2層目:成果物とひも付けする(終わりを明確とする)
- ③ 3層目:成果物を作る仕事に分解する(100%ルールを守る)
- ④プロジェクトマネジメントを入れる



多すぎるとメンテナンスできなくなる(30項目ぐらいが目安)

終わりが明確な項目とする

- × プログラミングの勉強をする
- プログラムミングの教科書の3章を読む

プロジェクト立上げ PJ憲章

. . .

プロジェクト計画 PJ計画書

- - -

要求定義 要求定義書

. . .

外部設計 外部設計書 機能一覧の作成 画面仕様の作成

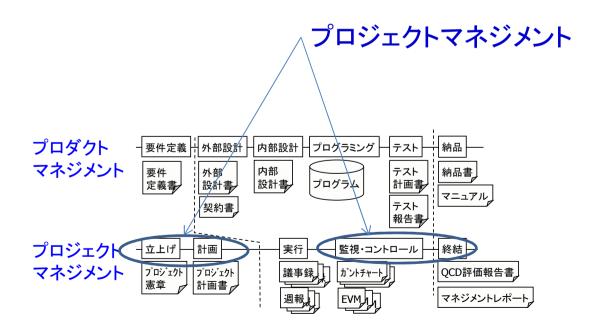
. . .

①1層目:プロセスから展開する(仕事の順番に合わせる)

② 2層目:成果物とひも付けする(終わりを明確とする)

③ 3層目:成果物を作る仕事に分解する(100%ルールを守る)

④プロジェクトマネジメントを入れる



プロジェクト立上げ

- - -

プロジェクト計画

- - -

要求定義

- - -

外部設計

. . .

監視・コントロール

. . .

プロジェクト終結

- - -

RAMの作り方

- ①縦にWBS、横にプロジェクトメンバの表を作る
- ②特定のメンバにしかできない仕事の担当を決める
- ③複数のメンバにできる仕事の担当を決める(全員の忙しさを同じくらいにする)
- ④ガントチャートを作った後、もう一度見直す



RAM: Responsibility Assignment Matrix / 責任分担表

ガントチャートの作り方

- ①タスク同士の開始と終了を重ねない
- ②全ての作業が最終成果物に繋がるのが理想
- ③週報をプロジェクトマネジメント(監視・コントロール)だと考える
- ④クリティカルパスを見つけておく

